

平成18年5月22日

各位

会社名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 中富 博隆
本社所在地 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
(コード番号 4530)
問合せ先 IR室 室長 高尾 信一郎
(TEL 03-5293-1714)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、このたび2007年2月期から2009年2月期までの中期経営計画を以下の通り作成しましたので、お知らせいたします。

業績予想

3カ年の業績予想(2007年2月期から2009年2月期まで)は、以下のとおりです。

<連結(単位:百万円)>

	2006.2	2007.2E	2008.2E	2009.2E	CAGR
売上高	102,665	107,100	114,000	117,000	4.5%
営業利益	22,770	24,600	26,600	27,300	6.2%
経常利益	24,159	25,400	27,100	27,800	4.8%
当期純利益	14,448	14,500	15,600	16,000	3.5%

<単体(単位:百万円)>

単体	2006.2	2007.2E	2008.2E	2009.2E	CAGR
売上高	97,169	102,000	108,000	111,000	4.5%
医薬事業部	74,932	77,500	83,000	85,000	4.3%
薬粧事業部	19,432	21,000	21,300	22,000	4.2%
国際事業部	2,804	3,100	3,200	3,400	6.6%
営業利益	22,865	24,400	25,800	26,700	5.3%
経常利益	23,444	25,200	26,300	27,200	5.1%
当期純利益	13,850	14,600	15,100	15,600	4.0%

・基本方針

上記の業績予想を達成するための基本方針ならびにその具体的対策は、以下の通りです。

1) 国内における久光営業の継続

現在の当社の収益源は日本国内にあり、売上および利益は順調に伸びております。このことは、当社の営業施策がお客様に受け入れられていることを意味しておりますので、久光営業を継続していくことで、売上および利益を伸ばしていきます。

- (1) モーラス群、モーラステープ群、ナボールパップで第二世代外用鎮痛消炎剤の市場シェア 50%、売上 770 億円（薬価ベース）を獲得する。
- (2) 薬粧事業部の売上高 220 億円を達成する（年成長率平均+4.2%）。

2) 選択と集中による R&D テーマの着実な進捗

当社の将来は、現在の研究開発にあります。研究開発は、スピードを上げて早く市場に送り出すことが使命となります。これを達成するために選択と集中を行ない、R&D テーマの進捗を促進致します。

- (1) HFT - 290（クエン酸フェンタニル、癌性疼痛、日本）を 2009 年 2 月までに申請する。
- (2) HPL - 509（ペルゴリド、パーキンソン病、日本）を 2009 年 2 月には P 試験実施中とする。
- (3) 製剤設計終了の 3 テーマは、共同開発パートナーを選定して開発を促進する。

3) 米国市場での医療用医薬品事業開拓

米国は世界最大の医薬品市場であり、米国の医療用医薬品市場に当社商品を上市することは、当社の経営理念である「世界の人々の QOL 向上を目指す」を実現するステップとして重要な意味を持ちます。この 3 年間は、本格的に米国市場へ進出する為の準備を行なっていきます。

- (1) HFG - 512（フェンタニル、強鎮痛）FS - 67（サリチル酸、鎮痛消炎）の承認を確実に取得して販売展開するとともに、米国での開発・申請ノウハウを蓄積する。
- (2) HKT - 500（ケトプロフェン、鎮痛消炎）は、本格的な米国進出テーマとして最注力し、選定したパートナーとテーマ推進する。

4) 株主還元の推進

2008年2月期に配当性向30%を実現し、以後は利益成長を考慮した適切な水準の配当を安定的に実施していきます。また、昨年11月にも実施いたしましたが、自己株取得を適宜行なっていきます。

以上